



POINT

1. 現場打設小口止工に比べ、積みブロックと同時に施工ができるため、作業量の軽減・省力化に寄与します。
2. 安定した品質が確保でき、工期も短縮可能となります。
3. 表面を擬石模様とすることで、陰影を生み自然環境になじみます。
4. 小口止めに「目立ち」がなくなります。
5. 前ブロックは3分型、4分型、5分型と勾配に応じて3種類あります。

▶ 積みブロック

省力化小口止ブロック 小口A (エース)

工程比較

■ 従来工法と小口エースの工程比較表

工程	日	1日	2日	3日	4日	5日
< 従来工法 (現場打ち) >						
型枠設置工						
コンクリート工						
養生工						
型枠撤去工						
< 小口エース (コンクリート2次製品) >						
製品据付け・中詰コンクリート打設						

明度証明

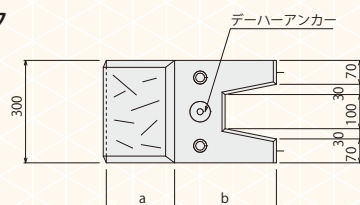
明度 6.0



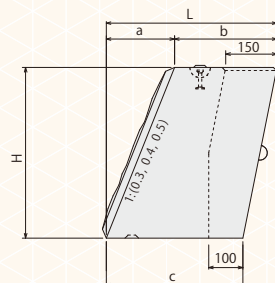
製品詳細図

◆ 前ブロック

< 上面図 >

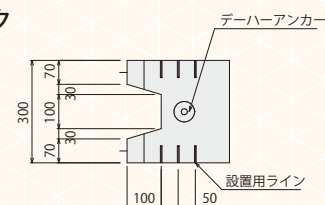


< 側面図 >

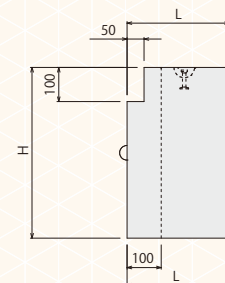


◆ 後ブロック

< 上面図 >



< 側面図 >



※表面は擬石模様化粧付きです。

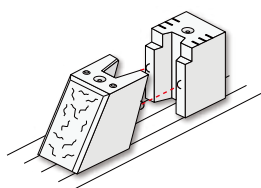
呼 称		寸 法 (mm)					参考重量 (kg)	製品部中詰量 (m³)
		L	a	b	c	H		
前ブロック	3分型	450	150	300	400	500	105	0.008
	4分型	500	200					0.009
	5分型	550	250					0.009
後ブロック	背面型	300	-	-	-	-	87	0.007

※法長調整用の面板があります。

施工手順

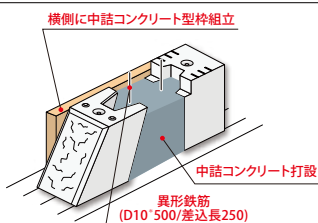
1

設置面を床均し、「前ブロック」と「後ブロック」を施工幅に合わせて設置。



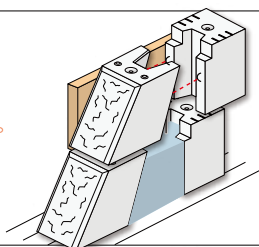
2

中詰(胴込部)コンクリート枠を組立。型枠を支保工で固定する。水平埋め込み筋(左右2本)を連結する。中詰(胴込部)コンクリート打設・養生し前後のブロックを連結する。
各段毎に鉛直方向(1本以上)差筋をする。
同上コンクリート枠脱型



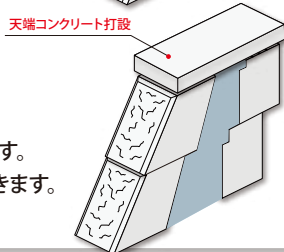
3

2段目ブロックの設置
前ブロックには位置決凹凸があります。
後ブロックには勾配決印(線)があります。
(2分、3分、4分の勾配目印線)
②③の繰り返し



4

天端型枠組立
天端コンクリート打設・養生
天端型枠脱型
必要に応じて天端工を施します。
法長調整用の面板が使用できます。



参考断面図

施工写真

